世界遺産を 動画でも たのしもう 萩

HAGI 産業遺産群

Sites of Japan's Meiji Industrial Revolution : Industrial Heritage Sites in Hagi

GUIDE MAP

01 萩城下町

はぎじょうかまち
萩城下町

1600年の関ヶ原の合戦で敗れた毛利輝元により萩城・萩城下町が計画的に建設されました。以後260年間、萩は萩(長州)藩の政治・行政・経済の中心地として栄え、当時の地域社会の姿をあらわしています。江戸時代は士農工商の身分制度が確立されており、萩城下町も武士と町民の暮らす区域は厳格に区別されていました。資産の範囲は①城跡、②旧上級武家地、③旧町人地の3地区です。

①城跡
◆萩市大字堀内1ほか
観覧料大人210円

②旧上級武家地
◆口羽家
住宅観覧料100円

③旧町人地
◆菊屋家住宅観覧料600円
◆旧宅等観覧料各100円

02 萩反射炉

はぎはんしゃろ
萩反射炉

反射炉とは、鉄製大砲の鋳造に必要な金属溶解炉です。萩(長州)藩の海防強化の一環として導入が試みられました。萩(長州)藩は、佐賀藩の反射炉のスケッチを入手し、それを基に建設しました。萩反射炉の大きさは、オランダの原書の寸法から約7割程度の規模だったため、試作的に築造されたと考えられています。1856年の一時期に金属の熔解実験が行われました。残っている遺構は煙突にあたる部分で、高さ10.5mの安山岩積み(上方一部レンガ積み)です。萩(長州)藩の試行錯誤を伝えると共に、我が国の産業技術史上、大変貴重な遺跡です。

◆萩市大字椿東4897-7ほか
萩市内中心部から北東へ約5㎞

03 恵美須ヶ鼻造船所跡

えびすがはなぞうせんじょあと
恵美須ヶ鼻造船所跡

1853年、幕府は軍備・海防力の強化を目的に大船建造を解禁し、のちに萩(長州)藩にも大船の建造を要請しました。1856年に萩(長州)藩は西洋式帆船の製造を学ばせるため、尾崎小右衛門(おざきこえもん)を伊豆の戸田村(へだむら)に派遣しました。ロシア式の技術を移入し、1856年12月には、萩(長州)藩最初の洋式軍艦「丙辰丸(へいしんまる)」が進水しました。その後、長崎経由でオランダ式の技術を移入し、1860年には2隻目の洋式軍艦「庚申丸(こうしんまる)」が進水しました。丙辰丸建造には大板山たたらの鉄が使用されたことが確認されています。現在も当時の規模のままの防波堤が残っています。

◆萩市大字椿東5159-14ほか　萩反射炉から海側へ約0.7㎞　大型車通行不可

04 松下村塾

しょうかそんじゅく
松下村塾

萩(長州)藩の兵学者 吉田松陰が主宰した私塾です。松陰は、1854年、25歳の時、伊豆下田でアメリカ艦船に乗り込み海外渡航を試みましたが失敗しました。投獄され、のちに実家の杉家(国史跡吉田松陰幽囚ノ旧宅)に謹慎となりました。1856年から門人への指導を開始し、1857年には現存する塾舎に移ります。塾生からは高杉晋作や、のちに「長州ファイブ」と呼ばれた内の1人である伊藤博文をはじめ日本の近代化、工業化の過程で重要な役割を担った多くの逸材がここで学びました。

◆萩市大字椿東1537-1　市内中心部から東へ約1.5㎞

05 大板山たたら製鉄遺跡

おおいたやまたたらせいてついせき
大板山たたら製鉄遺跡

砂鉄を原料に、木炭を燃焼させて鉄を作っていた江戸時代のたたら製鉄の跡です。砂鉄と木炭を炉に入れ、鞴(ふいご)を用いて行います。この製鉄法は「たたら」といい、日本の伝統的な製鉄方法です。宝暦期(1751〜1764年)の8年間、文化・文政期(1812〜1822年)、幕末期(1855〜1867年)の3回操業していました。原料の砂鉄は島根県から北前船を利用して奈古港に荷揚げされ、荷駄で運ばれていました。大板山のたたら場で作られた鉄は、恵美須ヶ鼻造船所で釘や碇などの部品にも使用されました。

◆萩市大字紫福257-5ほか(山の口ダム北側)　萩市内中心部から北東へ約23㎞　狭隘な道のため中・大型車通行不可

COCOAR2 まずは無料アプリ「ココアル2」をダウンロード

STEP 1 ダウンロード

ホーム画面より各アプリを押す
iPhone APPストア
Android™ Playストア

アプリ内検索
検索窓にカタカナで「ココアル2」と入力する
ココアル2

↑こちらからも ダウンロードできます

STEP 2 インストール

iPhone
入　手 を押す
インストール を押す

Android™
インストール を押す
同意する を押す

インストール完了

STEP 3 使い方

ココアル2を起動して
動画 マーク写真をスキャンすると動画が見られます。

※オフラインでは利用できません。

小畑地区 世界遺産観光シャトル

料金／無料　定員9人

萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、萩しーまーとの間を循環運行します!

運行期間　夏休み期間は毎日運行

平成28年　平成29年
4月1日〜3月31日の土・日・祝日

運行時間／午前10時〜午後3時30分(約30分間隔で運行)

※まぁーるバス(萩しーまーと発着)の時刻にあわせ運行します。
※天候や交通事情により運行できない場合があります。